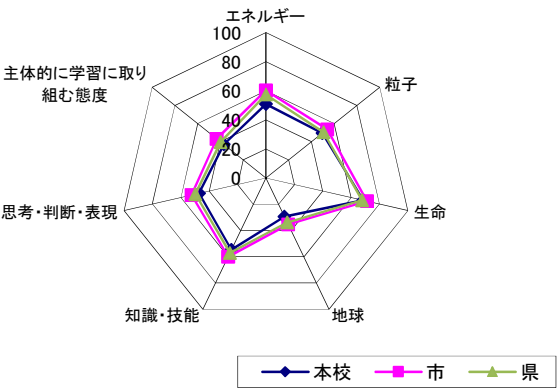


宇都宮市立雀宮中学校 第2学年【理科】分類・区分別正答率

★本年度の県、市と本校の状況

分類	区分	本年度		
		本校	市	県
領域等	エネルギー	50.9	60.3	57.4
	粒子	49.7	53.8	50.7
	生命	68.6	71.2	67.8
	地球	29.3	35.3	33.8
観点	知識・技能	54.6	59.9	57.0
	思考・判断・表現	47.2	52.4	49.7
	主体的に学習に取り組む態度	37.1	43.3	39.8



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

分類・区分	本年度の状況	今後の指導の重点
エネルギー	平均正答率は市の平均を9.4p、県の平均を6.5p下回っている。 ○音の性質で弦をはじいて音を高くする方法では、86%の生徒が正答している。 ●力の表し方では、矢印の作用点の位置を約半数の生徒が間違えている。 ●グラフの作図の正答が非常に少ない。	・グラフの書き方、力を矢印で表す表し方で、着目すべき点を確認しながら例題、実験の結果の処理、問題演習など、繰り返し行い、身に着けられるように改善する。
粒子	平均正答率は市の平均を4.1p、県の平均を1.0p下回っている。 ○エタノールの沸点が水より低いことを7割以上の生徒が理解している。 ●質量パーセント濃度を求める式を約半数の生徒が無回答にしている。	・実験のふり返り、まとめを丁寧に行い、結果だけでなくグラフや計算などのデータの処理の方法や、操作についても確認する。 ・考察時に根拠を述べる習慣が身につくように話し合い活動やレポート作成を行う。
生命	平均正答率は市の平均を2.6p下回っているが、県の平均を0.8p上回っている。 ○ルーペの使い方を8割以上の生徒が理解している。 ●クラゲを軟体動物と誤解している生徒が6割程度いる。	・植物、動物の分類の基準については用語を覚えるだけでなく、用語を用いて説明するなどの発展的な活動を取り入れる。 ・教科書以外の花のつくりを紹介し、共通点・相違点に注目したり比較したりできるようにする。
地球	平均正答率は、市の平均を6.0p、県の平均を4.5p下回っている。 ●火山・地震・地層いずれも正答率が低く。特に柱状図から推測する問題では、無回答が19.4%見られた。	・顕微鏡の学習時に合わせて実体顕微鏡の操作についても練習し、技能を身に着けるように指導する。 ・地震・火山・地層の基本をもう一度ワークシートなどで繰り返し復習できるようにする。